

整理番号	42-15	事務事業名	私立幼稚園協会補助金	作成部署	教育委員会 管理部管理課	電話	内線886	
事務区分	自治事務	法定受託事務	部長職名	鈴木 正広	課長職名	青山 章二	作成日	平成17年6月
事務事業開始年度		根拠法令等	北広島市教育関係団体補助金等交付規則、北広島市私立幼稚園補助金交付要綱					
〃 終了予定年度								
事務事業開始のきっかけ(導入当初の目的等)	市内幼稚園の連携と協力により、幼児教育の振興を図る。							

## 1 計画(プラン)

上位施策との関連 (総合計画での位置付け)	章	豊かな心と個性ある文化をはぐむまち	(第 4 章)
	節	幼児教育	(第 1 節)
	施策	幼児教育の振興	(第 2 施策)
目的 (ここから成果指標を導きます)	対象 (誰、又は何を)	北広島幼稚園協会(私立幼稚園8園で構成)	
	意図 (何をねらっているのか、対象をどのような状態にしたいのか)	幼稚園協会に補助金を交付することにより、市内私立幼稚園8園の連携と協力、また各種幼児教育関係団体等との連携、交流活動を促進し幼児教育の振興を図ることを目的とする。	
手段 (ここから活動指標を導きます)	市が行った(行う)事務事業の具体的な実施内容(団体補助等の場合はその補助金による団体の活動内容を記載)	16年度まで	(協会の活動内容) 設置者・園長会が年間6回から9回開催され、各園の情報交換や教職員研修会が行なわれている。このほか、教職員海外研修の助成、また協会主催の研修会に講演会等を開催している。
		17年度	前年度と同様に様々な事業が展開される。

## 2 実施(ドゥ)

## 【事業費の推移】

(単位:千円)

	区 分	15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	18年度(予定)
直接事業費	国支出金				
	道支出金				
	地方債				
	その他特財				
	一般財源	160	160	160	160
	合 計	160	160	160	160
人 件 費 (概算)	人 数(年間)	0.050	0.050	0.05	0.05
	1人当り年間平均人件費	9,000	9,000	9,000	9,000
	= ×	450	450	450	450
総事業費 +		610	610	610	610

## 【事務事業を評価する指標(ものさし)】

指 標	指 標(算式)	指 標 値			
		15年度	16年度	17年度(目標)	18年度(目標)
活動指標 (事務事業の活動量や実績)	会議開催回数	9回	7回	6回	6回
	研修会開催回数	2回	2回	3回	3回
成果指標 (目的の達成度を測るものさし)	会議参加者延人数	71人	56人	48人	48人
	研修会参加者延人数	95人	68人	76人	76人
効率指標 (主要活動単位当たりコスト)	1園当たりの事業費 (総事業費/園数)	76,250円	76,250円	76,250円	76,250円

整理番号 42-15

### 3 評価(チェック)と改善(アクション)

事務事業を取り巻く社会環境の変化や今後の予測・他市町村の動向等	幼稚園経営や幼児教育などについて、各幼稚園が連携し研修等が活発に行われている。
---------------------------------	---

#### 【妥当性の評価と改善の方法等】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
行政関与の妥当性 【市が実施すべき事務事業ですか。市民・企業等での実施可能性はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	幼児教育の向上推進のため、私立幼稚園が連携し研修会の開催や情報交換を行うことに行政が援助する必要がある。	
目的の妥当性 【社会経済情勢や市民ニーズの変化などから、設定した対象や意図は妥当ですか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	市内の幼児教育の資質向上を図るため妥当であると考え。	
手段の妥当性 【現在の手段は適切ですか。もっと効率的で有効な手法はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	幼児教育を推進する上で協会に補助することは妥当と考える。	
受益者負担の妥当性 【受益者負担の適正化の余地はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入) 該当しない		

#### 【有効性と効率性の評価と改善の方法】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
有効性の評価 【意図した成果は上がっていますか】	十分成果が上がっている 概ね成果が上がっている あまり成果が上がっていない 成果が上がっていない	幼稚園協会の活動では、幼児教育特区への取組みや次世代育成支援に関する学習会など、幼稚園間の連携した事業が行われていることが伺える。	
効率性の評価 【手法は効率的ですか。コスト削減の方法はありませんか】	十分効率的 概ね効率的 やや非効率 かなり非効率	事務的には概ね効率的であると考え。	

#### 【事務事業担当部局内優先度】

部局で所管するすべての事務事業の中で、この事務事業の位置づけはどの程度ですか		
A	B	C

### 4 総合判定と今後の方向性

【1次評価】	判定	今後の方向性や改善方法など
事務事業担当部局の総合判定 【上記3の評価と改善を踏まえ、今後の方向性についての総合判定と改善方法を記入】	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	16年度の2次評価を受けて、補助金については、17年度から事業費のみへ充当する見直しを行った。(16年度評価で見直しが必要とし、事業実施後17年度に見直したことから、判定は見直しの上継続とした) なお、協会に補助することで8園の連携が深まることから、現状のまま継続する。
【2次評価】	判定	今後の方向性等
行財政構造改革推進本部の総合判定	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	1次評価のとおり

## 付 表

## 補助金・交付金 交付先団体等の状況説明書

整理番号	42-15
------	-------

## 【交付先団体等の概要】

補助金・交付金名	私立幼稚園協会補助金		
交付先の名称及び代表者名	北広島市幼稚園協会 会長 坂本行正	設立年	
構成員(団体)数	市内私立幼稚園8園 (17年3月末現在)		
交付先団体等の活動目的	各園が連携し幼児教育の研究や研修等を実施し、市内私立幼稚園の資質向上を目指すことを目的とする。		
交付先団体等の活動内容	園長研修 教員研修 石狩管内幼稚園協会等との連携		
事務局の状況(16年度)	補助団体にある	市役所にある	
補助金等の充当状況(16年度)	運営費のみに充当	事業費のみに充当	運営費・事業費の双方に充当

## 【交付先団体等の決算・予算の状況】

(単位:千円)

区 分		15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)
収 入	本市補助・交付金の額(A)	160	160	160
	会費	448	466	484
	諸収入		60	
	繰越金	56	39	45
	その他(研修負担金)			
	<b>収入合計(B)</b>	664	725	689
支 出	研修費(講習会,研究会,視察)	551	315	350
	会議費	15	12	30
	役務費	23	8	10
	その他(予備費)	32	45	99
	研修積立金		300	200
	繰越金	43	45	
	<b>支出合計(C)</b>	664	725	689
繰越金	<b>収入(B) - 支出(C)</b>	0	0	0
全体支出に対する本市補助・交付金の割合(A)÷(C)		24 %	22 %	23 %
補助・交付金の対象経費(項目)		全項目	全項目	研修費のみ
補助・交付金の対象経費(金額)(D)		664	725	350
対象経費に対する補助・交付金の割合(A)÷(D)		24 %	22 %	46 %
補助・交付金の算出根拠	定額			